

令和8年度 介護職員等訪問指導研修メニュー 一覧表

	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
①	利用者の能力を引き出す移動・移乗 (講師:理学療法士)	ボディメカニクスの原理を学び、双方が安全・安心・安楽な移動・移乗動作を身に付けることができる 軽介助～中等度の介助の方を対象としています。	① 利用者の能力を引き出すことの理解 ② 介護を行う姿勢の注意点 ③ 能力を引き出す介助(寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗・歩行)のポイント ④ ベッドを活用した介助技術 ⑤ スライディングシートを活用した移乗技術 ⑥ トランスファーボードを活用した移乗技術
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
②	褥瘡・拘縮予防とポジショニング (講師:理学療法士)	安全・安楽の観点から座る姿勢、寝るを評価して、現状維持から改善に役立つようポジショニングの援助技術を身に付ける	① 姿勢の介助の目的と効果 ② 人の身体構造・機能の知識 ③ 悪い姿勢、正しい姿勢の理解とアセスメント(臥位・座位) ④ 姿勢の評価(グローブ使用) ⑤ 圧抜き、圧分散、座り直し ⑥ ポジショニング
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
③	自立支援をめざした福祉用具の選定と活用 (講師:作業療法士)	適切な福祉用具の選定・住まいの環境整備の方法を理解することで、生活場面に合わせた自立を支援することができる 生活に便利な福祉用具を探している事業所におすすめです。	① 日常生活動作の基本知識 ② 福祉用具の基礎知識 ③ 疾患別の特徴と場面に応じた福祉用具の活用方法 ④ 自立支援を目指した福祉用具の選定とフィッティング ⑤ 身体機能、ADL面のアセスメント
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
④	自立を意識した着替え・入浴介助 (講師:介護福祉士)	保清に関する基本を学ぶことで、自立を意識した安全で快適な清潔を維持するための技術を身に付けることができる	① 清潔の目的と効果 ② 自己決定(意思確認、同意、言葉かけ) ③ 基本的な更衣・入浴の介助
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑤	排泄ケアと関連用具の選定 (講師:介護福祉士)	排泄に関連する用具の適切な選定方法および知識・技術を修得することで、個々の状況に合わせた排泄ケアができる	① 排泄に関する基礎知識 ② 排泄ケアのためのアセスメント ③ 排泄のメカニズムと失禁のタイプ ④ 排泄関連用具の種類と選定、使い方 ⑤ オムツの適切な使い方
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑥	摂食嚥下障害者のケアと食事介助 (講師:言語聴覚士)	摂食、嚥下のメカニズムを学ぶことで、利用者の状態の観察・把握ができ、安全な食事環境を提供することができる	① 口から食べることの重要性 ② 摂食嚥下のメカニズム ③ 摂食嚥下障害の原因と症状 ④ 食事のアセスメント ⑤ 食事介助のポイント ⑥ リスク管理
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑦	口腔ケアと介護予防 (講師:歯科衛生士)	適切な口腔ケアを学び、口腔機能、口腔衛生への問題意識を持って介護に繋げる	① 口腔ケアとは ② 口腔のメカニズム ③ 口腔内の観察のポイント ④ 口腔ケアの種類と方法 ⑤ 口腔機能向上 ⑥ 歯磨きの方法
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑧	リフト を使った移動移乗の介助方法 (講師:理学療法士)	腰痛予防に関する社会動向を踏まえ、リフトの活用方法を学ぶことで、腰痛予防に配慮したプランニング能力を身に付けることができる。 (対象は介助なしでは立てない方～全介助の方) 中等度～重度介助の方を対象としています。今後の重度化を想定して、リフトを使用した介護のメリット・デメリットを知りたいという事業所におすすめです。	① 移乗に関するプランニングの基礎知識 ② 腰痛予防指針について(労働衛生管理・コスト・助成金制度) ③ 持ち上げない介護技術とは ④ リフトを活用した移乗技術
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)
⑨	個浴での入浴介助方法 (講師:作業療法士)	身体機能および入浴環境を理解し、安全・安楽・安心な入浴介助の知識・技術を修得する 個浴室の環境整備について学びます。小規模多機能型、グループホームにおすすめです。	① 身体機能に応じた入浴動作 ② 身体機能に応じた入浴環境 ③ 安全・安心な入浴介助の技術を修得する(介護チェックの方法、記録評価) ④ 入浴関連用具の機能の選定のポイント ⑤ 浴室、浴槽での各動作 ⑥ 疾患別動作 ⑦ 入浴動作時のリスク
	テーマ	到達すべき目標	修得する内容(ポイント)

